

連結経営指標等の推移

2016年までの財務データは経営統合前のコカ・コーラウエスト㈱の実績  
2017年の財務データは第2四半期以降コカ・コーラ ボトラーズジャパンホールディングス㈱の実績

日本基準		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
売上高	(百万円)	369,698	375,764	399,717	386,637	431,711	424,406	440,476	460,455	872,623
売上高伸長率	(%)	△ 6.5	1.6	6.4	△ 3.3	11.7	△ 1.7	3.8	4.5	89.5
営業利益	(百万円)	2,242	12,003	16,469	13,463	15,927	11,008	14,262	21,143	40,579
売上高営業利益率	(%)	0.6	3.2	4.1	3.5	3.7	2.6	3.2	4.6	4.7
税金等調整前当期純利益	(百万円)	△ 10,446	12,982	14,013	12,186	18,730	8,409	15,228	12,707	39,240
売上高税金等調整前当期純利益率	(%)	△ 2.8	3.5	3.5	3.2	4.3	2.0	3.5	2.8	4.5
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	△ 7,594	7,582	6,997	6,031	13,625	4,482	9,970	5,245	25,244
売上高親会社株主に帰属する当期純利益率	(%)	△ 2.1	2.0	1.8	1.6	3.2	1.1	2.3	1.1	2.9
包括利益	(百万円)	—	—	5,605	7,326	16,332	6,931	11,217	5,022	31,976
1株当たり当期純利益金額	(円)	△ 75.96	75.84	69.99	60.33	128.15	41.07	91.35	48.05	144.26
自己資本当期純利益率(ROE)	(%)	△ 3.3	3.4	3.1	2.6	5.6	1.8	3.9	2.0	5.7
総資産経常利益率	(%)	0.7	3.8	4.7	4.1	4.7	3.0	3.8	5.5	6.3
総資産	(百万円)	326,818	346,032	342,560	337,348	374,418	337,260	378,105	377,468	883,918
純資産	(百万円)	222,816	226,267	227,864	231,056	257,936	254,150	260,878	261,173	627,485
自己資本比率	(%)	68.2	65.3	66.4	68.4	68.8	75.2	68.9	69.1	70.9
1株当たり純資産額	(円)	2,227.96	2,260.03	2,275.55	2,307.44	2,359.82	2,325.19	2,386.81	2,389.28	3,070.01
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.7	0.7	0.6	0.6	0.9	0.7	1.0	1.4	1.3
株価収益率(PER)	(倍)	△ 21.6	19.4	19.1	22.1	17.4	40.4	26.9	71.7	28.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	28,747	31,732	39,960	26,324	40,082	28,628	40,422	34,388	72,450
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 23,447	△ 49,203	△ 34,050	△ 14,243	△ 16,493	△ 9,590	△ 24,994	△ 19,921	△ 41,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	43,297	△ 16,316	△ 8,780	△ 7,149	△ 8,286	△ 37,498	22,416	△ 7,546	△ 26,159
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	71,221	37,434	34,564	39,495	60,275	41,830	79,828	86,727	118,741
配当性向(連結)	(%)	—	52.7	58.6	68.0	32.0	99.8	44.9	95.7	30.5
1株当たり配当金 (うち1株当たり中間配当金)	(円)	42.00 (21.00)	40.00 (20.00)	41.00 (20.00)	41.00 (20.00)	41.00 (20.00)	41.00 (20.00)	41.00 (20.00)	46.00 (22.00)	44.00 (22.00)
減価償却費	(百万円)	24,069	22,405	21,371	20,643	23,758	22,943	24,048	17,491	37,352
設備投資額	(百万円)	25,201	16,524	21,201	20,031	20,242	22,783	16,181	25,728	42,539
従業員数 (外、平均臨時雇用者数)	(人)	8,172 (2,289)	8,331 (2,009)	8,105 (2,073)	7,877 (1,890)	9,650 (2,059)	8,324 (1,949)	8,837 (2,613)	8,616 (2,499)	17,197 (4,403)

IFRS		2017年	2018年	2019年
売上収益	(百万円)	837,069	927,307	914,783
売上収益伸長率	(%)	—	10.8	△ 1.4
事業利益	(百万円)	40,177	23,276	15,042
事業利益率	(%)	4.8	2.5	1.6
営業利益	(百万円)	37,594	14,682	△ 55,389
売上収益営業利益率	(%)	4.5	1.6	△ 6.1
親会社の所有者に帰属する当期利益	(百万円)	21,967	10,117	△ 57,952
売上収益親会社の所有者に帰属する当期利益率	(%)	2.6	1.1	△ 6.3
当期包括利益	(百万円)	30,065	3,197	△ 52,108
基本的1株当たり当期利益	(円)	125.53	52.68	△ 322.22
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)	(%)	4.6	1.6	△ 10.7
資産合計税引前利益率	(%)	5.6	1.6	△ 6.1
資産合計	(百万円)	929,304	877,472	952,444
資本合計	(百万円)	655,038	580,906	506,491
親会社所有者帰属持分比率	(%)	70.4	66.2	53.1
1株当たり親会社所有者帰属持分	(円)	3,204.90	3,163.63	2,821.27
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	1.3	1.0	1.0
株価収益率(PER)	(倍)	32.8	62.4	△ 8.7
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	73,014	51,244	42,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 14,299	△ 48,628	△ 68,308
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△ 26,717	△ 55,835	73,994
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	118,742	65,510	113,825
配当性向(連結)	(%)	35.1	94.9	—
1株当たり配当金 (うち1株当たり中間配当金)	(円)	44.00 (22.00)	50.00 (25.00)	50.00 (25.00)
減価償却費及び償却費	(百万円)	41,383	47,531	56,951
設備投資額	(百万円)	42,800	53,136	103,882
従業員数 (外、平均臨時雇用者数)	(人)	17,197 (4,403)	17,100 (3,957)	16,959 (3,578)

(注)金額については、日本基準は単位未満を切り捨て、IFRSは四捨五入し、また、比率については、単位未満を四捨五入しております。

## 経営成績に関する分析

当連結会計年度(2019年1月1日～12月31日、以下「当期」)における国内の清涼飲料市場は、前年の猛暑による需要増の反動に加え、7月の長雨や低温の影響もあり、前期比微減で推移したものと見込まれます。健康食品および化粧品市場におきましては、消費者の健康志向やアンチエイジングに対する意識の高まり、インバウンド需要の継続、マーケティング手法の革新や各社の積極的な新製品導入等により市場の拡大傾向は続いております。

このような中、当社は2019年を、2018年の被災や製品供給の問題からの復旧と将来の成長基盤再構築に注力する転換の年と位置づけ、2020年第2四半期までの供給体制の復旧と製造能力の段階的な拡張に向けた投資を進めてまいりました。また、2019年4月には、よりバランスのとれた数量と売上収益の成長に向けた重要な取り組みとして、当社にとって27年ぶりの大型PETボトル製品等の納価改定を実施いたしました。

さらに、2019年8月には、2024年までの5年間の中期計画を発表いたしました。当中期計画では、2024年の事業利益率およびROEの目標をそれぞれ5～6%としており、フランチャイズオーナーである日本コカ・コーラ株式会社と緊密に連携した成長投資戦略とコスト削減に向けた抜本的な変革を実行してまいります。また、これまでのコスト削減の取り組みに加え、ベンディング事業の変革、営業力・市場実行力の強化、調達とサプライチェーンにおける新たな機会の特定などにより、5年間で約350億円のコスト削減を目指し、各施策を進めております。

当期の業績につきましては、最盛期の長雨や低温の影響等による飲料事業の販売数量減少、需要が急増しているアセプティック(無菌充填)PETボトル製品の供給能力面の課題、2018年の被災以降に製品供給体制の復旧を進める中での製造・物流関連費用増の継続、第2四半期に計上したのれんの減損損失等により、以下のとおりとなりました。

### ■ハイライト

- 飲料事業(アルコール飲料を除く)の販売数量は、第4四半期(10～12月)に前年同期比1%増加するも、7月の長雨や低温、4月の納価改定の影響を受け、通期では前期比2%減少。飲料事業の売上収益は、第4四半期で1%増加、通期では1%減
- 第4四半期の手売り市場シェアは、金額シェアが数量シェアを上回って成長。コーヒー、無糖茶、スポーツのシェアが拡大。高単価の新製品が金額シェア成長に貢献
- 連結事業利益は、当初から見込んでいた2018年下期の被災影響等もあり、前期比35%減。2019年5月に発表した修正計画に対しては主力の飲料事業が上回り、ヘルスケア・スキンケア事業の未達を補い概ね計画通りで着地
- 連結営業利益は、第2四半期に計上したのれんの減損損失等により、55,389百万円の損失
- 供給体制再構築、製造能力拡張および事業基盤強化に向け約900億円の投資を実行。当期中に製造設備3ライン(京都工場、熊本工場)、自動倉庫2拠点(白州工場、熊本工場)が稼働開始。ERPシステム[CokeOne]の全エリア導入が完了
- 持続的成長実現に向け、中期計画を踏まえて策定したミッション・ビジョン・バリューに基づく組織体制をスタート。ベンディング事業の変革実行と人材戦略を推進

(単位:億円)

	2018年(前期)	2019年(当期)	増減率
売上収益	9,273	9,148	△ 1.4%
事業利益*	233	150	△ 35.4%
親会社の所有者に帰属する当期利益	101	△ 580	—

\*事業利益は、事業の経常的な業績を計るための指標であり、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

当期の連結売上収益は914,783百万円(前期比12,524百万円、1.4%減)となりました。飲料事業の売上収益は890,009百万円(前期比9,854百万円、1.1%減)となりました。当期の販売数量(アルコール飲料を除く)は前期比2%減少しましたが、大型PETボトル製品の納価改定やアルコール飲料[檸檬堂]の当社全エリア展開等の貢献がありました。ヘルスケア・スキンケア事業では、新製品の投入や新たな販売チャネルの開拓等に取り組み、第4四半期は新製品の投入や販促活動の効果等で若干の改善が見られましたが、主力の通販チャンネルにおいて売上減少が継続したこと等により、売上収益は24,774百万円(前期比2,670百万円、9.7%減)となりました。

当期の連結事業利益は15,042百万円(前期比8,234百万円、35.4%減)と概ね計画通りとなりました。主力の飲料事業の事業利益は徹底したコスト削減等により5月に発表した修正計画を上回り、事業利益は11,447百万円(前期比6,492百万円、36.2%減)となりました。退職給付制度統合や希望退職プログラムの実施に伴う人件費の減少、販売数量減少に伴い販促費等の減少があったものの、売上収益の減少、製造効率低下や物流費用増加の継続等が影響しました。ヘルスケア・スキンケア事業の事業利益は、効果的な販促費の投下に努めたものの、売上収益の減少により事業利益は3,595百万円(前期比1,743百万円、32.7%減)となりました。

連結営業利益は、第2四半期に計上したのれんの減損損失等により、55,389百万円の損失(前期の連結営業利益は14,682百万円)となりました。なお、その他の費用(非経常的に発生した費用)には、前期においては、平成30年7月豪雨による、広島県三原市の本郷工場が浸水被害を受けたこと等の損失8,874百万円が含まれております。また、当期においては、特別退職加算金9,184百万円や、中期計画に基づく抜本的な変革の実行に係る事業構造改善費用655百万円が含まれております。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、57,952百万円の損失(前期の親会社の所有者に帰属する当期利益は10,117百万円)となりました。

## 財政状態に関する分析

当社グループの当連結会計年度末の親会社所有者帰属持分比率は53.1%、財務体質については引き続き健全性を確保しているものと考えております。

当期末の資産合計は、952,444百万円となり、前期末と比較して74,971百万円増加しました。これは主に第2四半期ののれんの減損損失により、のれんが減少した一方、第3四半期の社債発行等に伴う現金及び現金同等物の増加、京都工場と熊本工場の新規製造設備3ライン、白州工場と熊本工場の自動倉庫の竣工等による有形固定資産の増加、当連結会計年度よりIFRS第16号「リース」を適用したことに伴う使用権資産の計上等によるものです。

当期末の負債合計は、445,953百万円となり、前期末と比較して149,387百万円増加しました。これは主に社債の発行に伴う社債及び借入金(非流動)の増加や使用権資産の計上に伴うリース負債の計上等によるものです。

当期末の資本合計は、506,491百万円となり、前期末と比較して74,415百万円減少しました。これは主にのれんの減損損失に伴う利益剰余金の減少や、2019年2月末まで実施した自己株式の取得等によるものです。

## キャッシュ・フロー分析

### <営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前損失が55,419百万円となり、減損損失、減価償却費及び償却費、営業債務及びその他の債務の増加等の一方、営業債権及びその他の債権や棚卸資産等の増加や法人所得税の支払等により、42,629百万円の収入(前期は51,244百万円の収入)となりました。

### <投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、供給体制の復旧と製造能力の段階的な拡張に向けた設備投資の実行に伴う有形固定資産の取得による支出等により、68,308百万円の支出(前期は48,628百万円の支出)となりました。

### <財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出や期末配当金の支払い等の一方、総額1,500億円の普通社債発行等により、73,994百万円の収入(前期は55,835百万円の支出)となりました。

以上の結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物は前年同期比48,315百万円増加し、113,825百万円となりました。

## 設備投資

当社グループは、当連結会計年度において当社グループの主要なセグメントである飲料事業を中心に総額103,882百万円の設備投資を実施いたしました。

主な内容は、販売力強化を目的とした自動販売機等の市場への投入、製造効率改善および新製品対応設備取得です。

## 研究開発

ヘルスケア・スキンケア事業において研究開発活動を行っておりますが、少額であり特に記載すべき事項はありません。

## 利益配分方針と配当金

当社は株主還元を最大化すべく、成長機会に向けた財務戦略の柔軟性を維持しつつ、資本構成や配当性向を定期的に見直し、内部留保金は持続的な成長に向けた投資にも活用し、事業の成長とさらなる企業価値の向上を追求してまいります。

配当につきましては、積極的な利益還元を行うことを利益配分に関する基本方針としながら安定的に配当を行うことを最優先とし、親会社の所有者に帰属する当期利益の30%以上を目安として、業績や内部留保を総合的に勘案のうえ剰余金の配当を実施しております。

2019年12月期の配当金は、中間配当金を1株あたり25円、期末配当金を25円とし、年間配当金は1株あたり50円といたしました。

連結財政状態計算書 (12月31日現在)

(単位:百万円)

	2018年	2019年
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	65,510	113,825
営業債権及びその他の債権	92,402	98,528
棚卸資産	68,781	74,120
その他の金融資産	645	752
その他の流動資産	10,740	17,587
流動資産合計	238,078	304,812
非流動資産		
有形固定資産	435,305	467,136
使用権資産	—	39,629
のれん	88,880	27,021
無形資産	66,539	67,123
持分法で会計処理されている投資	298	310
その他の金融資産	34,796	33,499
退職給付に係る資産	38	—
繰延税金資産	6,264	6,093
その他の非流動資産	7,274	6,820
非流動資産合計	639,394	647,632
資産合計	877,472	952,444

(単位:百万円)

	2018年	2019年
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	105,701	122,364
社債及び借入金	45,512	17,261
リース負債	—	6,634
その他の金融負債	993	916
未払法人所得税等	3,069	1,104
引当金	18	20
その他の流動負債	22,230	19,886
流動負債合計	177,524	168,186
非流動負債		
社債及び借入金	56,401	188,487
リース負債	—	34,138
その他の金融負債	749	—
退職給付に係る負債	33,712	24,908
引当金	2,191	2,104
繰延税金負債	23,082	24,876
その他の非流動負債	2,907	3,254
非流動負債合計	119,042	277,767
負債合計	296,566	445,953
資本		
資本金	15,232	15,232
資本剰余金	450,533	450,526
利益剰余金	182,418	121,372
自己株式	△72,651	△85,649
その他の包括利益累計額	4,915	4,517
親会社の所有者に帰属する持分合計	580,448	505,999
非支配持分	458	492
資本合計	580,906	506,491
負債及び資本合計	877,472	952,444

連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (1月1日~12月31日)

連結損益計算書	2018年	2019年
売上収益	927,307	914,783
売上原価	475,156	473,723
売上総利益	452,151	441,060
販売費及び一般管理費	426,195	423,685
のれんの減損損失	—	61,859
その他の収益	2,116	4,127
その他の費用	13,385	15,076
持分法による投資利益(△は損失)	△5	43
営業利益(△は損失)	14,682	△55,389
金融収益	830	1,145
金融費用	745	1,175
税引前利益(△は損失)	14,767	△55,419
法人所得税費用	4,605	2,476
当期利益(△は損失)	10,162	△57,895
当期利益(△は損失)の帰属:		
親会社の所有者	10,117	△57,952
非支配持分	45	56
基本的1株当たり当期利益(△は損失)(円)	52.68	△322.22
連結包括利益計算書 (単位:百万円)		
当期利益(△は損失)	10,162	△57,895
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目:		
確定給付制度の再測定	△2,889	5,596
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分相当額	△4	4
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の純変動	△3,344	621
小計	△6,236	6,221
純損益に振り替えられる可能性のある項目:		
在外営業活動体の換算差額	△12	—
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△716	△434
小計	△728	△434
その他の包括利益合計	△6,965	5,788
当期包括利益	3,197	△52,108
当期包括利益の帰属:		
親会社の所有者	3,152	△52,164
非支配持分	45	56

事業利益について

IFRSによる財務情報の開示に合わせ、事業の経常的な業績を計るための指標として「事業利益」を開示しています。この事業利益は、売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費を控除するとともに、その他の収益およびその他の費用のうち経常的に発生する損益を加減算したものです。

事業利益と営業利益の関係は以下のとおりです。

	2018年	2019年
売上総利益	452,151	441,060
販売費及び一般管理費	426,195	423,685
その他の収益(経常的に発生した収益)	1,635	1,083
その他の費用(経常的に発生した費用)	4,310	3,459
持分法による投資利益(△は損失)	△5	43
事業利益	23,276	15,042
のれんの減損損失	—	61,859
その他の収益(非経常的に発生した収益)	481	3,045
その他の費用(非経常的に発生した費用)	9,075	11,617
営業利益(△は損失)	14,682	△55,389

セグメント情報 (1月1日~12月31日)

<報告セグメント>

当社グループは製品・サービス別に組織運営体制を確立しており、製品の種類・性質、販売市場等をもとに、「飲料事業」および「ヘルスケア・スキンケア事業」の2つを事業セグメントおよび報告セグメントとしています。

	2018年			2019年		
	飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計	飲料事業	ヘルスケア・スキンケア事業	合計
売上収益	899,863	27,444	927,307	890,009	24,774	914,783
セグメント利益*(△は損失)	8,864	5,818	14,682	△58,904	3,515	△55,389

\*セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益です。

連結持分変動計算書 (1月1日~12月31日)

2018年	(単位:百万円)							
	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額	合計		
2018年1月1日残高	15,232	450,498	184,317	△4,693	9,258	654,611	427	655,038
当期包括利益								
当期利益	-	-	10,117	-	-	10,117	45	10,162
その他の包括利益	-	-	-	-	△6,965	△6,965	-	△6,965
当期包括利益合計	-	-	10,117	-	△6,965	3,152	45	3,197
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△9,173	-	-	△9,173	△21	△9,194
自己株式の取得	-	△25	-	△67,961	-	△67,987	-	△67,987
自己株式の処分	-	1	-	4	-	4	-	4
株式に基づく報酬取引	-	67	-	-	-	67	-	67
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	-	-	△2,843	-	2,843	-	-	-
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	-	-	-	-	△221	△221	-	△221
その他の増減	-	△7	-	-	-	△7	7	-
所有者との取引額等合計	-	36	△12,016	△67,958	2,622	△77,316	△14	△77,329
2018年12月31日残高	15,232	450,533	182,418	△72,651	4,915	580,448	458	580,906

2019年	(単位:百万円)							
	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の包括利益累計額	合計		
2019年1月1日残高(修正再表示前)	15,232	450,533	182,418	△72,651	4,915	580,448	458	580,906
IFRS第16号適用開始による調整	-	-	△338	-	-	△338	-	△338
2019年1月1日残高(修正再表示後)	15,232	450,533	182,080	△72,651	4,915	580,110	458	580,568
当期包括利益								
当期損失(△)	-	-	△57,952	-	-	△57,952	56	△57,895
その他の包括利益	-	-	-	-	5,788	5,788	-	5,788
当期包括利益合計	-	-	△57,952	-	5,788	△52,164	56	△52,108
所有者との取引額等								
剰余金の配当	-	-	△9,071	-	-	△9,071	△22	△9,093
自己株式の取得	-	△64	-	△13,002	-	△13,066	-	△13,066
自己株式の処分	-	△1	-	3	-	3	-	3
株式に基づく報酬取引	-	57	-	-	-	57	-	57
その他の包括利益累計額から利益剰余金への振替	-	-	6,315	-	△6,315	-	-	-
その他の包括利益累計額から非金融資産への振替	-	-	-	-	129	129	-	129
所有者との取引額等合計	-	△7	△2,756	△12,999	△6,186	△21,947	△22	△21,970
2019年12月31日残高	15,232	450,526	121,372	△85,649	4,517	505,999	492	506,491

連結キャッシュ・フロー計算書 (1月1日~12月31日)

	(単位:百万円)	
	2018年	2019年
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益(△は損失)	14,767	△55,419
調整項目:		
減価償却費及び償却費	47,531	56,951
減損損失	202	62,870
貸倒引当金の増減額	255	△515
受取利息及び受取配当金	△516	△509
支払利息	612	1,175
持分法による投資損失(△は利益)	5	△43
有形固定資産売却益	△215	△2,183
有形固定資産売却損	9,399	2,513
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△4,355	△6,149
棚卸資産の増減額(△は増加)	△6,869	△5,339
その他の資産の増減額(△は増加)	393	△266
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	2,234	6,259
退職給付に係る負債(純額)の増減額(△は減少)	491	△213
その他の負債の増減額(△は減少)	1,148	△3,543
その他	501	△451
小計	65,579	55,138
利息の受取額	3	1
配当金の受取額	487	508
利息の支払額	△548	△1,018
法人所得税の支払額	△14,553	△13,675
法人所得税の還付額	275	1,675
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	51,244	42,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産、無形資産の取得による支出	△49,752	△78,213
有形固定資産、無形資産の売却による収入	658	7,621
その他の金融資産の取得による支出	△137	△58
その他の金融資産の売却による収入	273	2,255
子会社株式の売却による収入	406	-
その他	△75	88
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△48,628	△68,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	24,000	△24,000
長期借入金の返済額	△1,817	△1,686
社債の発行による収入	-	149,441
社債の償還による支出	-	△20,000
配当金の支払額	△9,173	△9,071
非支配持分への配当金の支払額	△21	△22
自己株式の処分による収入	4	3
自己株式の取得による支出	△67,998	△13,095
リース負債の返済による支出	-	△7,576
その他	△830	-
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	△55,835	73,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△53,231	48,315
現金及び現金同等物の期首残高	118,742	65,510
現金及び現金同等物の期末残高	65,510	113,825